《豊田市》

平成22年度
生き物調査マニュアル

豊田市の生き物を調査しよう!

ハイブリッド・シティ とよた
環境モデル都市

パートナーシップ事業
COP10
AICHI-NAGOYA

もくじ

調査のあらまし 3

調査の内容 3
調査対象の生き物 3
調査の仕方 4
調査の結果について 5
持ち物･服そう 6
注意!／あぶない生き物 7
調査地域 8

見つけた生き物の写真をとろう!!
ナラ枯れに注意! 10

調査対象の生き物 1
（普通種／希少種） 11

調査対象の生き物 2
（外来生物） 27

調査シートの書き方 34

調査シート 35

▼調査の流れ（スケジュール）

1 講習会への参加

7月4日(日)、10日(土)(各2回、計4回)

□調査の方法について説明を聞きます。

日	時	場　所
4日（日）	10：00～	eco-T
	14：00～	自然観察の森
10日（土）	10：00～	足助交流館
	14：00～	豊田市棒の手会館

2 調査の準備

調査の前までに…

□ぼうしやタオル、虫よけスプレーなど野外で必要な物を用意します。
□生き物がいる場所や、特徴（とくちょう）について予習します。
□調査する日と時間を決めます。

3 調査の実施

8月1日(日)～31日(火)

□自分の家の近くの野原、山、川など調査をする場所に出かけます。
□マニュアルを参考に生き物をさがします。
□調査シートに見つけた生き物を記入します。

4 結果の報告

9月15日(水)まで

□調査を終了した調査シートを環境政策課（かんきょうせいさくか）へ送ります。

5 結果の確認

11月頃

□結果をまとめ、ホームページで公開します。
□結果は、豊田市の自然を守っていくための資料づくりに役立ちます。

6 交流会への参加

12月12日(日)

□調査の結果を聞き、みんなで感想などを話し合います。

時間／ 13：30～
場所／ eco-T

調査のあらまし

豊田市では平成20年度から、市内の生き物の生息状況を確認するため、身近な生き物の調査を行っています。今年度で3回目の調査です。

市内の自然を守っていくための資料づくりや市民のみなさんに自然と楽しくふれあい、親しんでいただくことを目的としています。

調査の内容

自宅の近くでトンボ、バッタ、タヌキなどの調査対象の生き物がいるかいないかを調べます。調査対象の生き物がいる場所や特徴は11～33ページに書いてあります。

調査対象の生き物（38種）

●調査対象の生き物 1

普通種（18 種）	よく見かける生き物
希少種（8 種）	数が少なくめずらしい生き物

生き物の特徴は 11 ページへ

●調査対象の生き物 2

外来生物（12 種）	もともとこの地域にいなかった生き物 ※この地域の生き物を食べたり、えさをうばったり、増えすぎたりするため問題になっています。なかでも特定外来生物は地域の自然環境に大きな被害を与えるため、飼ったり、持ち運ぶことが禁止されています。

生き物の特徴は 27 ページへ

調査のあらまし

調査の仕方

1 調査期間は8月1日（日）～31日（火）です。

この間で、調査する日･時間を自由に決めます。カブトムシなどは朝や夕方の方が見つけやすいので、自分がさがしたい調査対象生き物の活動時間を調べておきます。

2 調査場所を決め、調査対象の生き物38種類（11～33ページ）の中からさがします。

○石のうらや草のかげもよく見てみます。
○セミなど、鳴き声だけで種類が分かる生き物もいます。

なきごえだけでもOK!

姿が見えなくても、鳴き声だけでどんな生き物か分かれば、調査シートに記入してください。

3 生き物を見つけたら、調査シート（35～36ページ）に記入します。

○見つけた数を記入します。
○「タヌキが道をよこぎった」など生き物の様子や気づいたことも記入します。
○おもしろい生き物やめずらしい生き物は写真もとっておきます。
※調査シートは1回の調査につき、1枚です。2回以上調査したい方は、調査シートを送付しますので、環境政策課までご連絡ください。

調査が終わったら、報告してください。

○調査シート（35～36ページ）は表とうらがあります。記入もれがないか見直します。
○調査シートを環境政策課（かんきょうせいさくか）まで送ります。
（調査シートはハガキになっていますので、キリトリ線にそって切ってください。）
○調査シートは返却できませんので、必要な方は結果をひかえておいてください。
○報告は9月15日（水）までにお願いします。

《問合せ先》

〒471-8501
愛知県豊田市西町3−60
環境センター1F
豊田市環境部
環境政策課 環境学習担当
TEL:0565-34-6650
FAX:0565-34-6759
E-mail : kansei@city.toyota.aichi.jp

調査の結果について

調査した生き物には「水がきれいなところにすむ」などの特徴(とくちょう)があります。自分の調査結果を見て、調査した場所の環境(かんきょう)について考えてみましょう。

豊田市自然観察の森にも、たくさんの面白い生き物がいます。

豊田市自然観察の森

生き物にくわしいレンジャーがいます！！

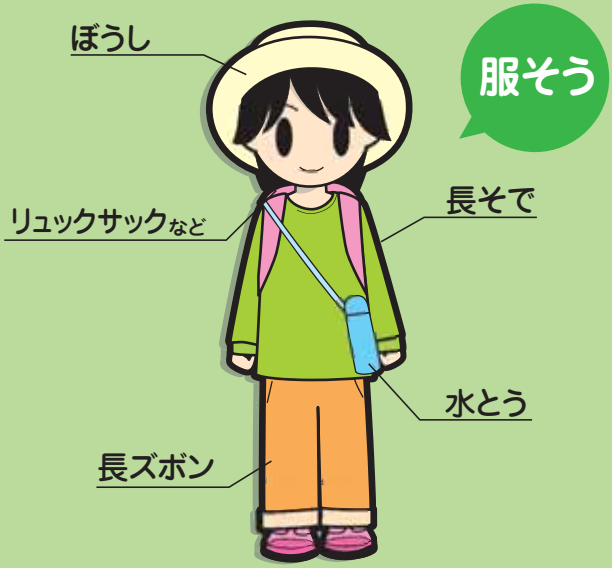
〒471-0014
愛知県豊田市東山町4-1206-1
〈TEL〉0565-88-1310
〈FAX〉0565-88-1311
http://www.toyota-kansatsu.com/

〈定 休 日〉
毎週月曜日（祝日、ふりかえ休日は開館）
〈利用時間〉
午前9時～午後5時半（4～9月）
午前9時～午後4時半（10～3月）

調査のあらまし

持ち物・服そう

市で配る物	■**調査マニュアル**
自分で用意する物	■**服そう**／ぼうし、長そで、長ズボン ■**ないと困る物**／筆記用具、好奇心 ■**あると便利な物**／定規、デジタルカメラ、リュックサック、水とう、タオル、虫よけ、虫めがね、傘（かさ）、双眼鏡（そうがんきょう）、下敷きなど



迷ったときは…

□生き物の種類の判定は、分かるものだけで構いません。

□「どういう生き物なのか知りたい」、「調査マニュアルにのっていない虫の名前が分からない」などというときは、図鑑で調べたり、自然にくわしい人に聞いてみましょう。

注意

- 小さな子どもは、大人と一緒(いっしょ)に出かけましょう。
- あぶない場所（流れの速い川や深い水路や池など）やあぶない生き物に近寄らないでください。
- 他人の家の庭や田んぼの中には勝手に入らないでください。
- 調査時のケガや事故については、市は責任(せきにん)を負いかねます。十分に気をつけてください。
- メダカとカダヤシのように、他の生き物とまちがえやすい種類もいますので、注意してください。
- 外来生物は持ち帰ったりせず、その場で観察してください。

あぶない生き物

スズメバチ

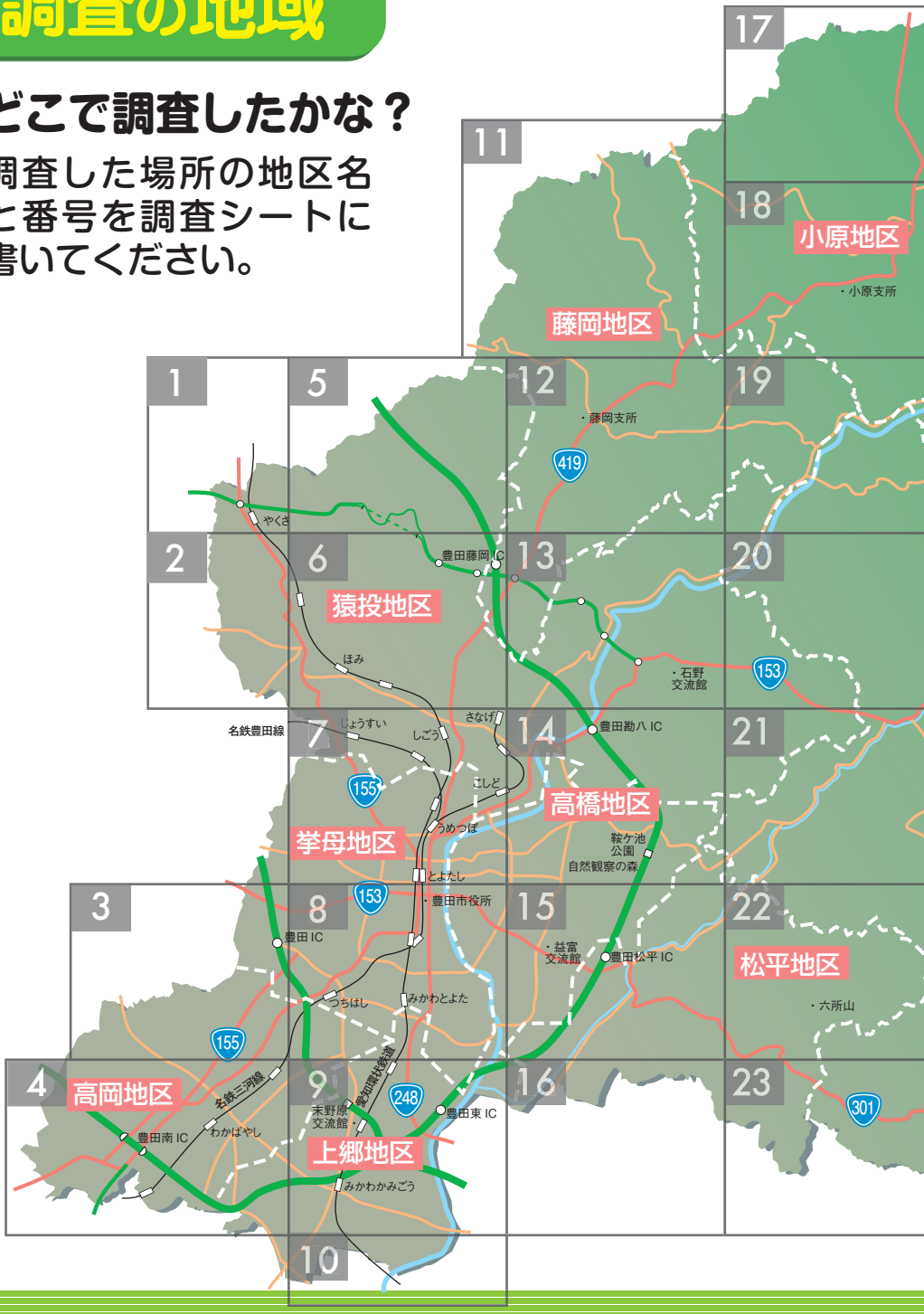
マムシ

丘や山にすむスズメバチの仲間は、気が強くおそってくることがあります。スズメバチを見かけても近寄らないでください。
草むらには毒を持つマムシがいることがあります。草むらに入る前には傘などで草をはらって、マムシがいないことを確認してください。

調査の地域

どこで調査したかな？

調査した場所の地区名と番号を調査シートに書いてください。



24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48

旭地区

・旭支所

稲武地区

・稲武支所

257

153

伊勢神トンネル(

)

足助地区

・足助支所

420

下山地区

・下山支所

473

見つけた生き物の写真をとろう!!

めずらしい生き物や、おもしろい生き物は写真をとってみましょう。
写真は調査の記念や、生き物の種類を判定する手がかりにもなります。
写真をとったら、**電子メールで環境政策課まで**送ってください。交流会の資料や次回の調査マニュアルなどに使用します。たくさんの生き物の写真をお待ちしています。

E-mail : kansei@city.toyota.aichi.jp

ナラ枯れに注目!

夏の時期、緑色の森の一部が茶色になっていたら、ナラ枯れかもしれません。

「ナラ枯れ」とは、ナラやカシなどのドングリの樹木が集団で枯れる現象です。原因は、体長約4.5mmの昆虫「カシノナガキクイムシ」が樹木内に菌類を持ち込むことで枯れてしまうことが分かっています。市内でも発見されていますので、調査の途中で見つけたら、調査シートのその他の欄に記録してみてください。

葉が茶色くなり、枯れ始めている様子。（猿投山麓）

「カシノナガキクイムシ」

調査対象の生き物（26種類）

1

ふつうしゅ
普通種

きしょうしゅ
希少種

調査対象の生き物 1

1 オミナエシ 植物

生えている場所
野山の草はらや土手

草丈(くさたけ)
60～100cm

特徴(とくちょう)
多数の黄色の小さな花がさく。

2 カワラナデシコ 植物

生えている場所
野山の草はらや河原

草丈(くさたけ)
30～80cm

特徴(とくちょう)
花びらに細かいきれこみがたくさん入った、桃色の花がさく。

3 キキョウ 植物 希少種

生えている場所
野山の草はら

草丈(くさたけ)
40～120cm

特徴(とくちょう)
星型の紫色の花がさく。

4 タイコウチ 昆虫

いる場所
池や沼(水底の泥や水草の間)

体長
細長い管をのぞいた体の大きさは3～4cm

特徴(とくちょう)
くすんだ枯葉のような色をし、平たい体で、2本の細長い呼吸管がある。

5 トンボ 昆虫

ハッチョウトンボ

いる場所
草丈が低い湿地の草の上

体長
約2cmで日本最小

特徴(とくちょう)
オスは赤色、メスは黄、茶、黒色の混合色。

シオカラトンボ

いる場所
池、湿地、水田の水面や草の上

体長
約5～5.5cm

特徴(とくちょう)
オスは水色、メスは茶色。

コシアキトンボ

いる場所
うすぐらい池や沼の水面

体長
約4～5cm

特徴(とくちょう)
黒色で腹の上だけが白～黄色。

チョウトンボ

いる場所
草丈が高い池や沼の水辺

体長
約3.5cm

特徴(とくちょう)
紫色のハネで、蝶のようにヒラヒラと飛ぶ。

オニヤンマ

いる場所
道や川の上

体長
8.5～11cmで日本最大

特徴(とくちょう)
エメラルドグリーンの眼と黄色と黒色のしまもよう。

こんなに小さい!! ハッチョウトンボ

6 セミ 昆虫

なきごえだけでもOK!

ニイニイゼミ

いる場所

平地や丘の林の、サクラなどの幹

体長

ハネをのぞいた体の長さは2〜2.4cm

特徴(とくちょう)

ハネは透明と茶色のまだらもよう。朝と夕方に「チィー」と連続して鳴く。

クマゼミ

いる場所

平地の林の、センダンなどの幹

体長

ハネをのぞいた体の長さは4〜4.8cm

特徴(とくちょう)

背中はつやのある黒色で、腹に白いもようがある。朝に「シャオシャオ」と鳴く。

ミンミンゼミ

いる場所

山地の林の、サクラなどの幹

体長

ハネをのぞいた体の長さは3〜3.6cm

特徴(とくちょう)

こい緑色の体に黒いもようがある。ハネは長くて透明。午前中に「ミーンミーン」と鳴く。

7 ショウリョウバッタ 昆虫

いる場所

明るい草はら

体長

体長4～8cm

特徴（とくちょう）

触角（しょっかく）は短く、頭がとがっている。オスは飛ぶときに「キチキチ」と音を出すので、キチキチバッタともよばれる。

---

8 カブトムシ 昆虫

いる場所

夜や朝方に、林でクヌギなどの樹液（じゅえき）を吸っている

体長

角をのぞいた体長は3～5cm

特徴（とくちょう）

オスはカブトのような長い角がある。

9 サワガニ 無せきつい動物

市民撮影：竹内雅臣さん

いる場所

きれいな川

体長

3～5cm

特徴（とくちょう）

石の下にひそんでいることが多い。

10 ドジョウ 魚類

いる場所

水田や流れのゆるい小川の泥底

体長

11～15cm

特徴（とくちょう）

10本のやや長い口ひげがある。体は茶色で細長い。

11 メダカ 魚類 希少種

※外来生物のカダヤシ(30ページ参照)とよく似ているので、注意しよう!

カダヤシと見分けるポイント!

いる場所

流れのゆるやかな川

体長

2〜4cm

特徴(とくちょう)

体はくすんだ黄色で、上から見ると頭の幅が広く細長い三角形のように見える。

12 アマガエル 両生類

いる場所

水田、湿地周辺の草丈(くさたけ)が低い草や木の上

体長

2〜4cm

特徴(とくちょう)

体は黄緑や灰色(はいいろ)。目の後ろに黒い線がある。オスは「クワッ、クワッ」と大きな声でなく。

13 トノサマガエル 両生類 希少種

いる場所

水田、湿地の草かげやしげみ

体長

5.5～9cm

特徴（とくちょう）

オスは茶褐色か緑色。メスは背中の中央に白っぽい線があり、周りに黒いもようがある。

14 イモリ 両生類 希少種

いる場所

水田、池など流れのない水の中

体長

全体の大きさ7～14cm

特徴（とくちょう）

背中が黒く、腹が赤い。

15 カメは虫類

イシガメ

いる場所 山ぎわの川や池

体長 甲(こう)らの大きさ13～18cm

特徴(とくちょう) 背中(せなか)は茶色、腹(はら)は黒色。甲らの後ろのフチはギザギザ。

クサガメ

いる場所 平地の川や池

体長 甲(こう)らの大きさ17～25cm

特徴(とくちょう) 体の色は黒～黒茶色。甲らの真ん中と両側にもりあがった3本の筋がある。

16 ヘビは虫類

アオダイショウ

いる場所 平地、山地、人家のまわり

体長 110～192cm

特徴(とくちょう) 体はくすんだオリーブ色でぼんやりとした太い筋(すじ)がある。

シマヘビ

いる場所 明るい草はら

体長 80～200cm

特徴(とくちょう) 体は灰色(はいいろ)に黒のしまもようか、黒色。

17 タカ 鳥類

オオタカ

いる場所

平地や低い山の林

体長

翼(つばさ)を広げた長さは106～131cm

特徴(とくちょう)

はばたきと滑空(かっくう)をくり返してまっすぐ飛ぶ。

サシバ

いる場所

丘(おか)や低い山の林

体長

翼(つばさ)を広げた長さは103～115cm

特徴(とくちょう)

「ピックィー」と鳴く。

トビ

撮影:川田奈穂子

いる場所

平地や低い山の林

体長

翼(つばさ)を広げた長さは129～160cm

特徴(とくちょう)

「ピーヒョロロー」と鳴く。

18 カワウ 鳥類

いる場所
川や沼、ダム湖、池

体長
80～90cm

特徴(とくちょう)
体が黒く、顔の白い部分に丸みがある。

19 サギ 鳥類

アオサギ

いる場所 川や池、沼、水田

体長 90～98cm

特徴(とくちょう) 体は灰色で、目のうしろからかざり羽にかけて黒い筋がある。

コサギ

撮影:川田奈穂子

いる場所 川、池、沼、湿地、水田

体長 約61cm

特徴(とくちょう) 体は真っ白で、くちばしと足は黒い。足の指は黄色。

20 コゲラ 鳥類

いる場所

低い山、平地の林、木が多い市街地の公園や寺社の木の上

体長

約15cm

特徴（とくちょう）

せ中は灰色（はいいろ）と白のまだらもよう。「ギィーギィー」とにごった声でなく。

---

21 カラス 鳥類

なきごえだけでもOK!

ハシブトガラス

いる場所 市街地、林

体長 約56cm

特徴（とくちょう） ハシボソガラスに比べクチバシが太く、額がもり上がっている。「カーカー」とすんだ声でなく。

ハシボソガラス

いる場所 畑、林、河原

体長 約50cm

特徴（とくちょう） ハシブトガラスより小さく、クチバシが細い。「ガーガー」とにごった声でなく。

22 ツバメの仲間 鳥類

ツバメ

いる場所

市街地、水田、川の上

体長

約17cm

特徴(とくちょう)

のどが赤く、腹(はら)は白い。

イワツバメ

いる場所

市街地、平地、山

体長

約13cm

特徴(とくちょう)

のど、胸(むね)、腹(はら)、腰(こし)が白い。

コシアカツバメ

いる場所

市街地、水田

体長

約(つばさ)19cm

特徴(とくちょう)

腰(こし)と顔の横が赤さび色。

23 ニホンカモシカ ほ乳類 希少種

撮影:豊田市

いる場所

林の中の切り株の上や高いところで休んでいることが多い

体長

70～85cm

特徴(とくちょう)

体は黒っぽいこげ茶色で、角がある。

24 コウモリ ほ乳類

いる場所

市街地、公園、池、林にすみ、夕方に開けた場所を飛び回る

体長

約5cm

※写真はコキクガシラコウモリ

25 キツネ ほ乳類

撮影:豊田市

いる場所

林、草はら

体長

頭から胴体まで60～80cm

特徴(とくちょう)

朝か夕方に活動する。

26 タヌキ ほ乳類

いる場所

林、里山、水辺

体長

頭から胴体まで50～60cm

特徴(とくちょう)

ずんぐりと丸く、足が短い。太く短い尾を持ち、目の周りが黒い。夜行性。

調査対象の生き物（12種類）

2 外来生物

27 セイタカアワダチソウ 植物

撮影:豊田市

生えている場所

河原、空き地

草丈(くさたけ)

100～250cm

特徴(とくちょう)

茎や葉をさわるとざらつき、秋には多数の黄色い花がさく。

花がさいた様子→

28 ホテイアオイ 植物

市民撮影：鈴木勝己さん

生えている場所

池、沼(ぬま)

草丈(くさたけ)

水面からの高さは12～15cm

特徴(とくちょう)

青紫色の花がさく。

29 ボタンウキクサ 植物 特定外来

生えている場所

池、沼（ぬま）

草丈（くさたけ）

水面からの高さは5～20cm

特徴（とくちょう）

サニーレタスによく似ている。

《別 名》**ウォーターレタス**

---

30 カワヒバリガイ 無せきつい動物 特定外来

撮影：豊田市矢作川研究所

いる場所

水路の暗い部分

体長

2～3cm

特徴（とくちょう）

黒い二枚貝（にまいがい）。

31 アメリカザリガニ 無せきつい動物

いる場所

池、沼（ぬま）、川、水田

体長

約10cm

特徴（とくちょう）

体は赤く、大きなはさみを持つ。

---

32 カダヤシ 魚類 特定外来

※メダカ（18ページ参照）とよく似ているので、注意しよう!

メダカと見分けるポイント!

いる場所

流れのゆるやかな川

体長

3〜5cm

特徴（とくちょう）

体はくすんだ黄色。

33 ブラックバス 魚類 特定外来

いる場所

池、沼(ぬま)、川

体長

30～70cm

特徴(とくちょう)

杭(くい)など障(しょう)がい物の回りにいることが多い。

※写真はオオクチバス

34 ブルーギル 魚類 特定外来

いる場所

池、沼(ぬま)、川

体長

約25cm

特徴(とくちょう)

えらの上に青い斑点(はんてん)がある。

調査対象の生き物 2

35 ウシガエル 両生類 特定外来

なきごえだけでもOK!

いる場所

草のしげった水辺

体長

11～18cm

特徴（とくちょう）

オスは「ウォーウォー」と太い声で鳴く。オタマジャクシは全長15cmにもなる。

---

36 ミシシッピアカミミガメ は虫類

いる場所

ゆるやかな流れの川、池

体長

甲（こう）らの大きさは20～30cm

特徴（とくちょう）

せ中にもり上がった一本の線がある。また目の後ろに赤い筋（すじ）がある。

《別 名》**ミドリガメ**

37 アライグマ ほ乳類 特定外来

いる場所

水辺、市街地、畑

体長

41～60cm（頭から胴体まで）

特徴（とくちょう）

尾に5～10本の黒い輪があり、目の周りが黒い。夜行性。

38 ヌートリア ほ乳類 特定外来

撮影:豊田市

いる場所

川や沼の水辺

体長

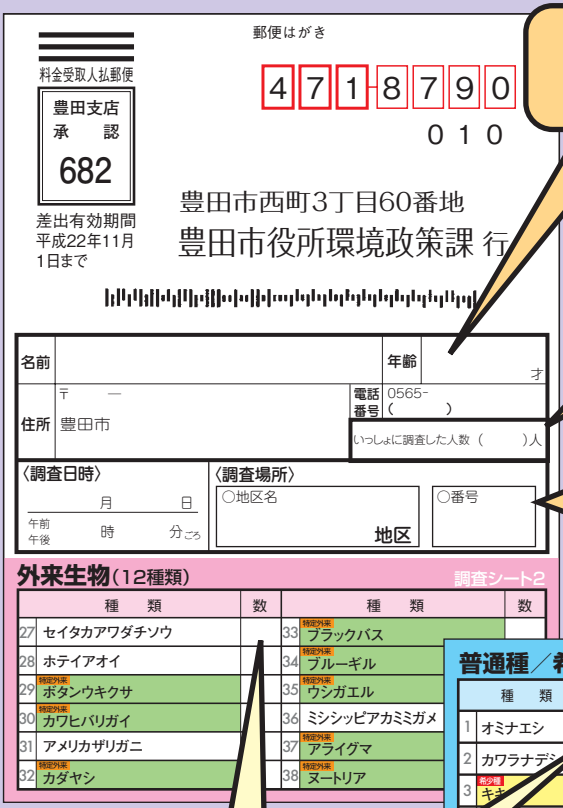
最大58cm（頭から胴体まで）

特徴（とくちょう）

鼻の先が白い。耳は円形で小さく、後ろ足に水かきがある。夜行性。

※写真（撮影者名が無い物）:吉鶴靖則
※イラスト:川田奈穂子

調査シートの書き方



名前、住所、年齢、電話番号を書いてください。

いっしょに調査した人で、調査マニュアルを持っていない人数を書いてください。

※調査結果が重複しないようにするため。

《調査した日にちと時間》

《調査場所》

○8～9ページの地図から調査地区名と番号を書いてください。

●その他、気づいたことを書いてください。（生き物のようすなど）

●見つけた生き物の数を書いて下さい。

※生き物の姿が見えなくても、鳴き声だけでどんな生き物か分かれば記入してください。

※種類が分かれば種類のところに書いてください。

ポストへ

調査結果を記入し、切り取ってポストへ投かんしてください。

※ハガキになっています（切手不要）

キリトリ

普通種／希少種（26種類）

調査シート1

	種類	数
1	オミナエシ	
2	カワラナデシコ	
3	希少種 キキョウ	
4	タイコウチ	
5	トンボ	
	種類が分かればこちらに記入してください。⇩	
	ハッチョウトンボ	
	シオカラトンボ	
	コシアキトンボ	
	チョウトンボ	
	オニヤンマ	
6	セミ	
	種類が分かればこちらに記入してください。⇩	
	ニイニイゼミ	
	クマゼミ	
	ミンミンゼミ	
7	ショウリョウバッタ	
8	カブトムシ	
9	サワガニ	
10	ドジョウ	
11	希少種 メダカ	
12	アマガエル	
13	希少種 トノサマガエル	
14	希少種 イモリ	
15	カメ	
	種類が分かればこちらに記入してください。⇩	
	イシガメ	
	クサガメ	
16	ヘビ	
	種類が分かればこちらに記入してください。⇩	
	アオダイショウ	
	シマヘビ	
17	タカ	
	種類が分かればこちらに記入してください。⇩	
	希少種 オオタカ	
	希少種 サシバ	
	トビ	
18	カワウ	
19	サギ	
	種類が分かればこちらに記入してください。⇩	
	アオサギ	
	コサギ	
20	コゲラ	
21	カラス	
	種類が分かればこちらに記入してください。⇩	
	ハシブトガラス	
	ハシボソガラス	
22	ツバメの仲間	
	種類が分かればこちらに記入してください。⇩	
	ツバメ	
	イワツバメ	
	希少種 コシアカツバメ	
23	希少種 ニホンカモシカ	
24	コウモリ	
25	キツネ	
26	タヌキ	

キリトリ

●その他、気づいたことを書いてください。（生き物のようすなど）

調査結果を記入し、切り取ってポストへ投かんしてください。

※ハガキになっています（切手不要）

キリトリ

郵便はがき

料金受取人払郵便

豊田支店
承　認
682

差出有効期間
平成22年11月
1日まで

4 7 1 - 8 7 9 0
0 1 0

豊田市西町3丁目60番地
豊田市役所環境政策課 行

キリトリ

名前		年齢	才
住所	〒　　— 豊田市	電話番号	0565- (　　)
		いっしょに調査した人数（　　）人	

〈調査日時〉

月　　日

午前 午後　　時　　分ごろ

〈調査場所〉

○地区名　　地区

○番号

外来生物（12種類）

調査シート2

	種　類	数		種　類	数
27	セイタカアワダチソウ		33	特定外来 ブラックバス	
28	ホテイアオイ		34	特定外来 ブルーギル	
29	特定外来 ボタンウキクサ		35	特定外来 ウシガエル	
30	特定外来 カワヒバリガイ		36	ミシシッピアカミミガメ	
31	アメリカザリガニ		37	特定外来 アライグマ	
32	特定外来 カダヤシ		38	特定外来 ヌートリア	

※この冊子は再生紙を使用しています。